

# Face to Face



## 笠間市に住んでいる 外国人のお顔を拝見してお話をしてみました

笠間市に住んでいる外国人に登場してもらい、母国の文化、笠間市の地域の人との交流、異国での子育て、仕事のこと、将来の夢などを語ってもらいます。

笠間市在住の外国人

### 大槻 ニコラスさん

出身地：ペルー リマ  
現住所：友部地区  
家族：妻 長男 長女 次女

I は国際交流協会の聞き手  
F は外国人の声です。  
では、さっそく始めましょう。

- I ニコラスさん、初めまして。
- F 初めまして。私は、ペルー生まれですが、祖父が日本人の日系3世です。私の正式な名前は、「ニコラス オオツキ ベラ」といいますが、日本に来てからは「大槻 ニコラス」と名乗っています。
- I 日本に来たきっかけは。
- F 祖父から日本のことを聞き、日本語も教えてもらいました。ペルーで大学1年生の時、学費を自分で払いたいと思っていたので、思い切って大学を休学して日本のゴルフ場で働きました。日本に来てみると私の日本語は全く通じず苦労しましたが、1年間経ってペルーに帰る頃には日本語も話せるようになり、もっと日本にいたいと思いました。
- I 働いていたのは笠間市内のゴルフ場ですか。
- F はい。日系3世のチリ人の就労制限がない在留ビザで正式に笠間のゴルフ場に入社しました。
- I それで1年だけのつもりがずっと日本にいらることになったんですね。大学はどうになりましたか。
- F 最終的にはやめることになり、日本に来て2年目に知り合った女性と結婚しました。
- I 奥さんは日本の女性ですか。
- F いいえ、私と同じ日系3世のペルー人で、同じゴルフ場で仕事をしていました。結婚して2年後に長男が生まれ、次の年に長女が生まれました。妻は仕事と子育ての両立に疲れてしまい、私も子育てに協力しましたが、周りに育児



家族写真

- の相談をできる人がいなく大変でした。そんな時、職場の人が早く仕事を終えて、私が保育所の迎えに行けるようにしてくれました。
- I それは良かったですね。
- F はい。それに、娘の日本での育児を手伝おうと妻の両親が日本に来てくれました。その後、二女も生まれて3人の孫の育児を手伝ってくれて、子どもたちが大きくなるとペルーに帰りました。子どもたちは元気に育ち、学校ではバスケット部に入り、習字も習って県展で賞をもらいました。娘はクラシックバレエも習い、部活やおけいこの送り迎えも大変でした。
- I 今後日本でも暮らす予定ですか？
- F はい。私は33年日本で暮らし、永住権も取りました。
- I それは良かったですね。ニコラスさん、今日はありがとうございました。